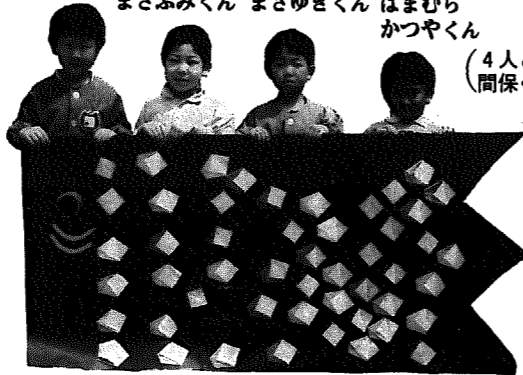




■このコーナーでは、皆さんからの情報を募集しています。地区内行事、ボランティア活動などなんでもOK。総務課企画係(☎82-4111内線215)までご連絡ください。
■この広報紙にあなたが写っていましたら、総務課企画係へご連絡ください。写真をさしあげます。

いしかわ かのの ほしの
かずひこくん まさふみくん まさゆきくん
はまむら かつやくん
(4人とも 間保・5歳児)



ぼたくの自信作

家族みんなで自然を満喫
村民歩け歩け大会

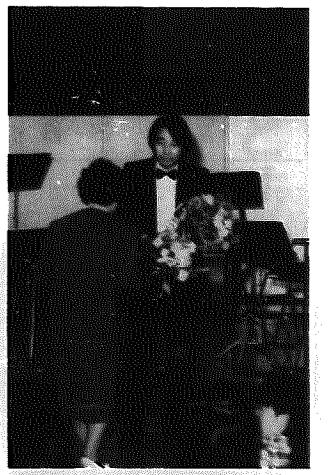
「さわやかな自然と歴史探訪」を満喫してもらおうと先月十九日(日)、毎年恒例の「村民歩け歩け大会」が行われました。当日は、この日を楽しみにしていた親子ら約三百五十人が参加。丸小山公園を起点に、「文化財と参禅コース」「天神山探訪コース」などの四コースに分れ、思い思いのウォーキングを楽しみました。出発時は、すがすがしい春晴れでしたが、途中から雨にたたられちよつと残念な一日でしたが、久しぶりの親子サービスとあって、あちこちに楽しそうな笑顔がみられました。



生演奏の迫力が……
「いわむろふれあいコンサート」

ことしも先月七日(火)、村民体育館で「第三回岩室村ふれあいコンサート」が開催されました。毎年大好評を呼んでいる同コンサート。当日は、村内はもちろんだ、近隣市町村のクラシックファン約千人が来場し、その迫力ある生演奏に酔いしれました。今回の演奏会は、皆さんもよくご存じの名ピアニスト遠藤吉比古さんの独奏で開幕。ベートーベンのピアノソナタ「月光」をはじめ名曲三曲を披露、その洗練された演奏に聴衆はかたずきのみ聞き入っていました。続いて行われた群響フルメンパーによるコンサートは、田中一喜さんの指揮でロッシニの歌劇「セヴィリアの理髪師」など三曲を約二時間にわたって演奏。詰め掛けた聴衆は、一年ぶりに聞く群響の、その華麗で迫力ある生演奏に

酔いしれていました。今回の公演は、いわむろ群響を呼ぶ会を中心に、村内外の皆さんから支援をいただき、いわば官民一体のイベントとしても大成功でした。関係者は「今回の公演には本当に多方面の皆さんからご協力をいただき助かりました。これからも、こうした活動を通して交流を深めながら生涯学習を推進できればと願っています」とのことでした。



演奏後、花束を受ける遠藤吉比古さん

美声と節回しを競い合う

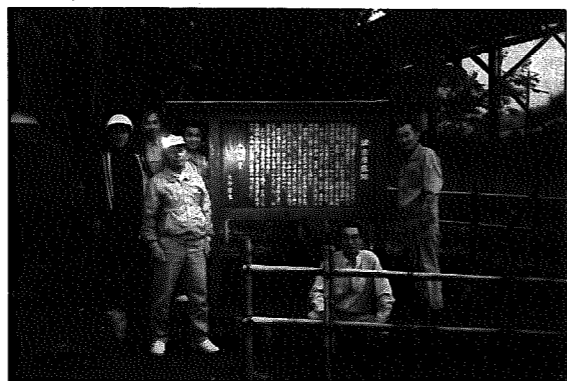
——基句日本一に五十嵐さん(新潟市)——

岩室基句日本一を決める「第2回岩室基句日本一全国大会」が、先月12日村民体育館で開かれました。この大会は、岩室基句の普及と観光地「岩室」を全国に売り込もうと開かれているもので、今回も村内外をはじめ県外から111人が参加。のど自慢が、その美声と節回しを競い合いました。大会は午前中に予選が行われ、その結果20人が午後の決勝へ進出。さすが決勝とあって、どの人も優秀つけがたい歌いぶりでしたが、審査の結果、新潟市の五十嵐ヨシ子さんが見事岩室基句日本一の座に輝きました。



後世に残し伝えたい「謙宗屋敷跡」

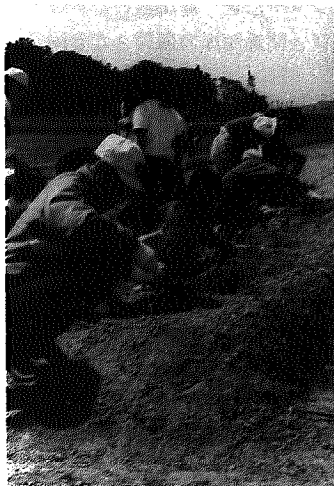
説明板を設置



大字岩室では先月十七日、地区内の史跡の一つ「謙宗屋敷跡」の説明案内板を設置しました。これは、周辺の開発や道路の改修などによってポツンと取り残されているこれらの史跡を、保存し後世に伝えていこうと保存整備が行われたものです。「この名称は、けんしゅう屋敷が一般的に読み方だそうですが、地元ではけんそう屋敷と呼んでいますので、あえてこの名称にしました。立派になりましたので、ぜひ皆さんから見てくださいね」と岩室区長の佐藤さんは話していました。

一本一本ていねいに苗植え

春晴れの先月十八日、岩室小学校で勤労生産学習の一環として行われている野外学習の一つ「サツマイモの苗植え」が行われました。当日は、全校生徒が学校協の実習畑に集合。この日のために用意されたサツマイモの苗が約三百五十本、先生たちの指導のもと各学年ごとに割り当てられた場所に、一本ずつてい



ねいに植え付けました。苗植えはみんな手慣れたもので、さつそく高学年たちは、秋の豊作を願いながら水くれに一生懸命でした。